

各位

上場会社名 太洋物産株式会社
 代表者 代表取締役社長 柏原 滋
 (コード番号 9941)
 問合せ先責任者 執行役員 総務部ジェネラルマネージャー 宮内 敏雄
 (TEL 03-5333-8080)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,000	220	130	110	9.37
今回修正予想(B)	21,220	△362	△444	△448	△38.17
増減額(B-A)	△8,779	△582	△574	△558	
増減率(%)	△29.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年9月期)	24,525	127	73	70	6.00

(注) 当社は平成28年7月20日払込みによる第三者割当増資を実施し、発行済株式数が1,548,000株増加しておりますが、上記、「1株あたり当期純利益」につきましては、平成27年11月13日公表の業績予想と比較するため、第三者割当増資前の発行済株式数 11,734,197株 で算出しております。

修正の理由

当社は平成28年9月期第3四半期累計期間におきまして、当社の主要商材である鶏肉において、他の食肉に比べ安価であることから国内需要は減少せず取扱数量は確保できたものの、輸入量の増加と円高の影響により市場価格が低迷し、売上高及び収益を確保できなかったことなどで、売上高が158億31百万円(前年同四半期累計期間比 11.8%減)となり、営業損失4億54百万円(前年同四半期累計期間は 営業利益1億52百万円)、経常損失5億28百万円(前年同四半期累計期間は 経常利益1億26百万円)、四半期純損失5億30百万円(前年同四半期累計期間は 四半期純利益1億18百万円)を計上する予定です。

しかしながら、第3四半期以降に売上・粗利益が当社の業績に対し影響が大きい鶏肉の市場相場が高騰する予想を立てており、着地点の想定が難しく第2四半期の発表時点では修正等を行いませんでしたが、現時点において、鶏肉の国内在庫整理がなかなか進まないことによる市況回復の遅延、円高の為替動向を勘案し、平成27年11月13日公表の平成28年9月期業績予想を修正し、売上高を212億20百万円、営業損失3億62百万円、経常損失4億44百万円、当期純損失4億48百万円とさせていただきます。

(注)本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上